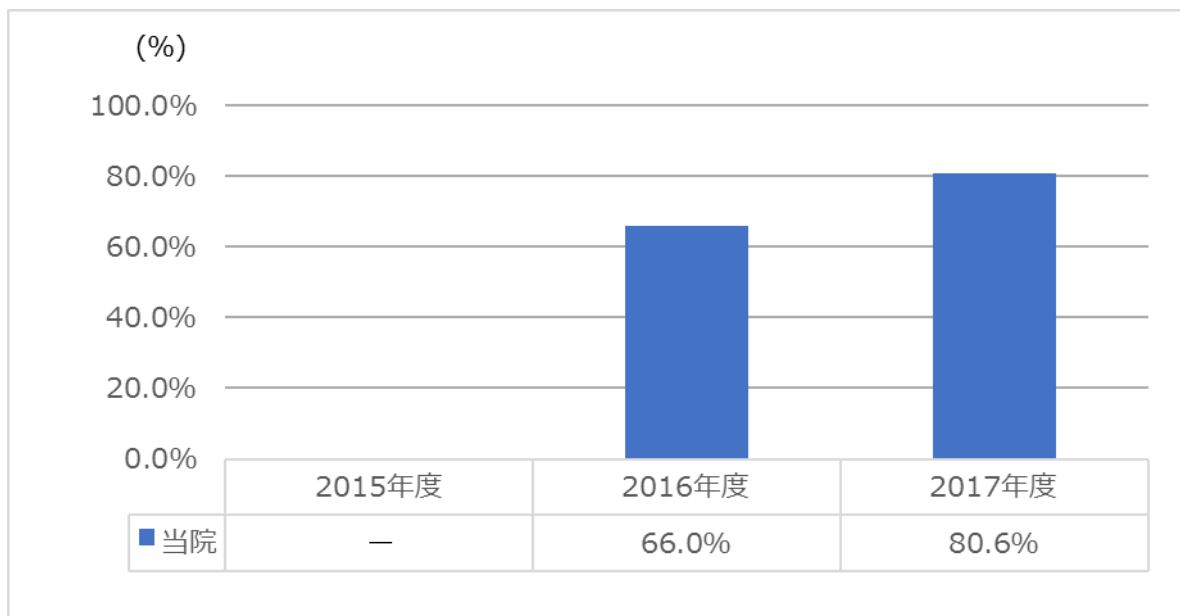


### 指標 3 3 大腸癌に対する腹腔鏡下切除術率



#### <定義>

分子	: 分母のうち、下記別表 1 に示す手術を実施した症例数
分母	: 消化器外科における結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍及び直腸肛門(直腸 S 状部から肛門)の悪性腫瘍の症例数
期間	: 2016 年度～2017 年度(1 年毎に集計)
対象	: 上記期間の退院患者
値の解釈	: 高い方が望ましい

別表 1

番号	Kコード	枝番	手術名 1	手術名 2
1	K642-2		腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	
2	K719-3		腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	
3	K740-2	1	腹腔鏡下直腸切除・切断術	切除術
4	K740-2	2	腹腔鏡下直腸切除・切断術	低位前方切除術
5	K740-2	3	腹腔鏡下直腸切除・切断術	切断術

#### <解説>

当院では、大腸癌の患者さん個々に合わせて根治性(癌を治す)と安全性を最優先に考えた治療の提供を心掛けていますが、近年、さらに低侵襲性(身体への負担が少ない)も考慮した腹腔鏡手術に積極的に取り組んでいます。高難度手術と言われる腹腔鏡下の右半結腸切除術、S状結腸・直腸切除術、直腸切断術など様々な術式を採用し、症例によっては進行癌に対する術前化学(放射線)療法後の腹腔鏡下切除術も行っています。

※ 本データは当院で収集したデータを基に作成しています。